

福生市議会

# 正和会だより 第53号

令和5年8月  
発行  
福生市議会正和会  
責任者  
佐藤 弘治

●正和会ホームページ  
<https://fussa-seiwakai.moo.jp/>  
●メールアドレス  
fussa-seiwakai@drive.ocn.ne.jp

福生市議会正和会

検索

## ごあいさつ

会長 佐藤 弘治

日頃より、市民の皆様には大変お世話になります。令和5年4月23日の統一地方選挙を経て、正和会は新たなメンバーを含む10名で活動をはじめました。正和会だよりもリニューアルさせていただきました。

ようやくコロナ禍が収束に向かい、様々な市民の営みは、日常に戻

りつつあります。私たちは、国難のなか、多くの辛い経験をしておりますが、これを知恵とし、持続可能な地域社会を創ることができるかの瀬戸際に立っています。皮相にとらわれず真実を見極め、新たな時代のまちづくりを力強く推し進めていかなければなりません。

正和会は、これまで地域の皆様と共に築き上げてきた絆を礎に、一人一人がより一層の研鑽を積み、皆様のご期待に応えることができるよう、全力を尽くして参ります。引き続きご指導いただけますようお願い申し上げます。



(後列左から) 武藤 政義・小澤 芳輝・佐藤 弘治 (会長)・幡垣 正生・清水 義朋 (相談役)  
(前列左から) 仲間 正司・森田 哲哉・石川 義郎 (会計)・山崎 貴裕 (総務会長)・小林 貢 (政調会長)

## 「自転車用ヘルメット購入補助(助成) 制度の創設を求める緊急要望書」

を提出し実現!

正和会では、令和5年4月13日、子供及び高齢者をはじめ市民への自転車用ヘルメット着用の更なる啓発を図るとともに、「自転車用ヘルメット購入補助(助成)制度の創設を求める緊急要望書」を提出。6月議会で補正予算が組まれ制度が創設されました。18歳以下(令和6年3月31日時点)の方、並びに65歳以上の方で、新品かつ、安全基準に適合した自転車ヘルメットを令和5年4月1日から令和6年3月31日までに購入した方に、上限2,000円の補助が受けられるようになりました。

令和5年4月1日から自転車を運転する際の自転車用ヘルメット着用が努力義務となりました。警視庁によると、自転車事故による死亡者の約6割が頭部に致命傷を負っているとのことで、自転車運転中の交通事故において自転車用ヘルメットを着用していなかった方の致死率は、着用していた方に比べて平成30年から令和4年の5年間の合計で約2.1倍高くなっているというデータも公表されています。

そこで、正和会としては、道路交通法の改正による自転車用ヘルメット着用

の努力義務化を契機に、自転車乗車中の事故による負傷を軽減するとともに、安全運転への意識向上を図ることを目的として、自転車用ヘルメット購入補助(助成)制度の創設を早期に実現するため緊急要望書を提出しこのほど実現しました。



## 東京都へ「子どもの医療費助成の 拡充を求める意見書」を提出

正和会から各会派に働きかけ、東京都に対する「子どもの医療費助成の拡充を求める意見書」を議会に提出し全会一致で可決されました。

令和5年度から都が実施している「高校生等医療費助成事業」により、都内全ての自治体において医療費無償化が18歳まで広げられ、子育て世帯にとっては経済的な負担が軽減されました。しかしながら、この制度は、所得制限と窓口での自己負担を設けたうえで、制度開始から3年間は都が全額を負担しますが、それ以降は市区町村が半額を負担する制度であるため、4年目の令和8年度からは各自治体と同様に福生市にとって重い負担が生じる仕組みとなっています。

また、「乳幼児医療費助成事業」及び「義務教育就学児医療費助成事業」についても同様に、都の制度であるにもかかわらず、市にとって重い負担となっています。

そこで、都が①子どもの医療費助成事業の財源は、責任を持って恒久的に全額を負担すること、そして、②高校生等医療費助成事業及び義務教育就学児医療費助成事業における所得制限や一部自己負担を撤廃し、子どもの医療費助成事業における完全無償化を都の全額負担により実現することを強く求める意見書を提出しました。





正和会所属議員10名の市政への抱負と活動



仲間 正司

総務文教委員

この度の市議会議員選挙において、温かいご支援を頂き令和5年5月より新人議員として活動をさせて頂き深く感謝申し上げます。

さて、令和2年4月7日に新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が東京で初めて発令されてから、私たちは、感染症の恐怖におびえ、街は閑散として静まりかえり、生活スタイルが変わり、人同士のコミュニケーションや移動の制限により、生産業、物流業、飲食店、販売業、サービス業など多種多様な所で多大な影響を受けました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが、これまでの新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）から、令和5年5月8日より5類感染症となり行動の制限が緩和され、また、イベントや祭りが開催されました。少しずつですがコロナ前の日常に戻ってきており、福生七夕まつりも4年ぶりに開催され、また活気ある福生！笑顔の街福生！が戻るよう地域の為に元気いっぱい力を尽くしてまいります。



石川 義郎

総務文教委員長  
議会運営委員  
福生病院企業団議会議員

お陰様で、この度の福生市議会議員選挙で2期目の当選を果たすことができました。また今回は総務文教委員長、議会運営委員、正和会では会計のお役を拝命し、身の引き締まる思いでございます。

さて、新型コロナウイルス感染症も5類となり、様々な事業等が通常通り制限なく催され始め、宴席も以前と同様に盃を交わすことが出来るようになりました。改めて人と人の触れ合いの大切さを実感する次第であります。

「まちづくりは人づくり」人と人の触れ合いの中で醸成されていくものであります。そのためにも本市の新たなスローガンである「子どもまんなかふっさ」の実現が将来の福生市にとって大切であります。子育て支援、子ども教育の充実等をより一層図ることにより、福生市の未来が明るく豊かになる、読んで字の如く「福が生まれるまち福生」のまちづくりのため、精進努力していきます。

引き続き皆様のご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



小林 貢

市民厚生委員長  
議会運営委員  
福生病院企業団議会副議長

令和5年4月に行われました、福生市議会議員選挙におきまして2期目の当選をさせて頂きました。

1期4年間では、福祉バスの増便、防災行政無線放送内容の充実、新型コロナウイルス感染症対応、学校の長期休校、高齢者や障害者等に優しいバリアフリー化の実施状況、公園施設の維持管理及び計画策定、福生駅西口地区市街地再開発事業等について一般質問を行い、また、市民相談を行う中から、みなさんの身近な問題や課題について改善や内容を明らかにして参りました。

2期目の4年間につきましては、子育て世代の定住化対策やバリアフリー化の推進、通学路の安全対策、商工業振興対策、公園などの環境対策などに取組んでまいります。引き続き、福生市の住みやすく、安全に安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

更なる、ご指導・ご鞭撻をくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。



小澤 芳輝

市民厚生副委員長 議会運営委員  
横田基地対策特別委員  
瑞穂斎場組合議会議員

皆様の温かいご支援をいただき、市議会議員として2期目を迎えることが出来ました。改めて身の引き締まる思いです。

4年前に初当選した時のことを思い返すと、住んでよかったと思えるまち福生実現のため、健康で明るい生活のできるまちづくり、それは例えば、小児の健康・健全育成、健康長寿社会をつくるための健康管理体制、地域とのつながりを深める地域活動への住民参加による体力知力の維持向上ができる環境づくりを目指しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症蔓延の為活動方針を根本から見直さざるを得なくなり、体力の維持向上の活動そのものが抑制されてしまいました。

新型コロナウイルス感染症も2類相当から5類に移行した事により、経済活動・地域活動も3年前の状態まで回復するよう皆様と一緒に力を合わせ、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めたいと考えています。どうぞ宜しくお願いいたします。



幡垣 正生

建設環境委員  
東京たま広域資源循環組合議会議員

日頃よりご支援を賜り誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。さて、3期目を迎えるこの4年間「スポーツ文化を通じて人づくり街づくり」に努めて参りたいと考えております。

人が楽しく生きる為には、まず健康でなくてはなりません。人生100年時代と言われておりますが、元気に生きていく事が大切です。その為にも、スポーツを通じて健康づくりができる様な街づくり、そして、多種多様な趣味やサークル活動を通じてのコミュニケーションが大切です。

私自身もスポーツや文化活動、特に音楽の街福生市を応援できる様な活動をしていますが、多くの人と会話をしながら市民生活の安定と向上に寄与できる様に「聞いて」「考えて」「動く」をモットーにしています。

そして、「福祉」に関しては困り事への要望に取組む事、「教育」に関しては児童生徒が安全安心な教育環境で教育が受けられ、保護者と地域が協力して子供達を見守りながら、地域で育てる教育活動を応援して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



森田 哲哉

建設環境委員  
横田基地対策特別委員

皆様の温かいご支援を賜り、5月より市議会議員として活動させて頂いております事、心より感謝申し上げます。

またこの度は、建設環境委員・横田基地対策特別委員を拝命し、緊張感をもって職務を遂行させて頂いております。

福生市では4年ぶりに行われました第73回福生七夕まつりや地域の夏まつりと、コロナ禍で沈んでいた街にも明るい兆しが見え街行く人にも笑顔が戻ってきている感があります。しかしながら、防災関係・少子高齢化問題・町会加入率の促進等々、解決しなくてはならない案件も数多く存在しています。

その為には問題提起し、どんな事にも耳を傾け、足を運び解決の糸口を掴むまで粉骨砕身頑張る所存でございます。

市民の皆様が安心して暮らしていける街づくりの為、市民の立場に立って精一杯走り続けますので更なるご指導御鞭撻を宜しくお願い致します。



山崎 貴裕

議会運営委員長 総務文教委員  
横田基地対策特別委員  
西多摩衛生組合議会議員

皆様にご支援をいただきました2期目の活動が始まっております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、5月には新型コロナウイルス感染症が感染法上で2類相当から5類相当へ移行されました。6月定例会ではわれわれ議員側席や理事者側席全てに設置されていた飛沫防止パネルも撤去され開放感を感じながら議会に臨むことができました。一般質問では、「高校生等に対する経済的支援について」「信号機のない横断歩道の安全対策について」「学校における挨拶の指導について」「幼保小連携のこれまでの成果及び課題について」の4項目で質問を致しました。これらは市民の声が原点です。市民と行政の橋渡し役となり住みやすい街へと推進していく所存です。

今回は正和会では総務会長となり、議会においては、総務文教委員会、横田基地対策特別委員会に所属となりました。また議会運営委員長の役も仰せつかりました。しっかりと職責を果たして参ります。



武藤 政義

市議会議長  
総務文教委員

新しい任期が始まりました。5月に開催された福生市議会臨時会において、第29代福生市議会議長の大役を仰せつかりました。重責ある立場ゆえ、色々な所に出向き福生市議会の代表として振る舞うことが多くあります。すべての仕事を1つずつ丁寧に務めることを心がけ、精一杯頑張っております。

今年度は前年度に引き続き、福生市が全国市議会議長会基地協議会の会長市ということで、清水前議長に続き今年度は私が会長を務めさせていただきます。これは、基地が所在する全国318の自治体のうち、216自治体（令和5年6月末日現在）の議会が加盟する全国組織であります。基地が所在することにより近隣住民の皆様には様々な負担がありますので、加盟市町村議会で連携して国に対して補助金、交付金の増額を求めていくことなどが大きな目的であります。基地と共存する議会の代表としても全力で頑張っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



佐藤 弘治

横田基地対策特別委員長  
議会運営委員 市民厚生委員  
西多摩衛生組合議会議員

多くの皆様からご支援いただき3期目の活動をスタートさせて頂くことができました。またこの度は会派の会長を仰せつかりました。

さて、これまで議員個人としては、活動レポートの定期的な発行、HP並びにFacebookをはじめとするSNS等の運営、メディアへの出演など、議員活動の見える化を心がけてきました。また議会活動のなかでは、議会改革にも力を入れて参りました。ありがたいことに、こうした活動が市民の皆様にも少しずつではありますが、認知されつつあると実感させて頂いております。今後も不断の努力を重ね、少しでも多くの方に市議会議員の活動内容をお知らせし、そしてその中で自らを顧みながら、さらに研鑽を積んで参ります。

コロナ禍による悪影響も収束に向かっておりますが、世界情勢は緊迫感を増し経済環境も悪化しています。市民の声をより受け止められるよう、会派長としても尽力して参ります。



清水 義朋

福生市監査委員  
建設環境副委員長 議会運営委員  
横田基地対策特別委員

今までにない気温の上昇、気候変動を一因とする影響から日本各地での異常気象と思われる風水害、そして世界情勢の影響から物価の高騰やエネルギー関連の負担が増えるなど、福生市においても大きな変化にしっかりと対応することが住民福祉の向上に繋がることは間違いのないことと感じています。

私がやらなければならないことの一つは、こうした大きな変化は福生市のみならず西多摩をはじめとした各地で同じ課題となっており、地域連携や広域での課題解決が必ず必要となると考えそのためには、現場にしっかりと足を運ばせていただき、そして広い視野をもって取組みを進めることであると思っております。

会派での活動においては相談役としての立場でしっかりと政策に取組める議員の育成を進めると共に、前期末で務めさせていただいた全国市議会議長会基地協議会会長として築き上げたネットワークを活かし、スポーツを中心とした地域の活性化のため、西多摩各地と周辺市町村の議員とも連携し、幅広い視野で活動を進めてまいります。